

# 平成19年度 介護保険事業特別会計決算状況をお知らせします

問い合わせ先

介護保険課介護保険係 (☎235111内線275)

## 歳入歳出の決算状況

(単位：円)

歳入区分	収入額	歳出区分	支出額
支払基金交付金	1,506,770,000	保険給付費※2	4,725,868,982
国庫支出金	1,176,089,665	総務費	190,418,642
保険料	973,536,507	公債費※3	121,817,499
繰入金	879,208,479	諸支出金	97,309,513
県支出金	727,022,385	地域支援事業	59,638,792
繰越金	19,333,924	財産安定化基金拠出金	4,566,263
諸収入	22,010,550	基金積立金	106,521
使用料及び手数料	191,900	計	5,199,726,212
財産収入	106,521		
市債※1	42,874,000		
計	5,347,143,931	差引(剰余金)※4	147,417,719

※1 「市債」は保険給付費の増に対し、保険料の収入不足を補うため、青森県財政安定化基金から借り入れたものです。

※2 「保険給付費」のうち、主なものは訪問介護や通所介護などの居宅サービス費26億380万円、特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設サービス費15億4,268万円です。平成18年度に比べ、2億2,832万円の増加になっています。

※3 「公債費」とは、平成12～15年度の県からの借入金を返すお金です。

※4 差引(剰余金)のうち、2,025万円は平成20年度執行の事務費、9,865万円は国・県・市などからの交付金を精算し返すお金です。

表1

サービスの種類	要介護1～5	サービス費用額	利用者負担額(1割)	保険給付額(9割)
訪問介護 (ホームヘルプ)	身体介護(30分以上1時間未満)	4,020円	402円	3,618円
訪問看護	訪問看護ステーションから(30分未満)	4,250円	425円	3,825円
通所介護 (デイサービス)	6時間以上8時間未満	6,770円～11,250円 (送迎含む、食事代別)	677円～1,125円	6,093円～10,125円
通所リハビリ テーション	6時間以上8時間未満	6,880円～13,030円 (送迎含む、食事代別)	688円～1,303円	6,192円～11,727円

介護保険のサービスを利用した場合、利用者は原則として1割を負担し、残り9割は市から保険給付として各サービス提供事業者を支払われます。居宅サービスを例にとると表1のようになります。

平成19年度に65歳以上の1人当たりにより要した保険給付額は、県内10市の平均265,787円に対し、十和田市は303,982円と一番高くなっています。

介護保険料は保険給付額が増えるほど高くなる計算方式となっています。

保険料の増加を防ぐためにも、適正なサービスの利用に努めましょう。

## 安全・安心なまちセーフコミュニティを目指して⑬

今回は、世界保健機関(WHO)によるセーフコミュニティ認証取得に向け、市の現在の状況や今後の動きについてお知らせします。

これまで、本市で取り組んできた安全・安心に関する事業や昨年7月に実施した外傷世帯調査の結果、作業部会で検討したアクションプランなどをもとに、セーフコミュニティ認証取得の申請書(案)を作成しました。12月には、市セーフコミュニティ検討委員会や推進協議会の委員の皆さんからご意見をいただき、完成した申請書を1月8日にアジア地域セーフコミュニティ認証支援センター(韓国)に提出しました。

セーフコミュニティの認証申請をしたことにより、認証基準を満たした取り組みが行われているかを確認するため、WHOの専門審査員2人(韓国および中国)が3月26日(木)、27日(金)に来市します。

また、8月28日・29日には、十和田市において第3回日本セーフティプロモーション学会の開催を予定しており、認証を取得した場合は、国際シンポジウムの

開催も予定しています。

今後は、本市がセーフコミュニティとしてさらに国内外へ情報を発信し、多くのかたがたが協働で安全・安心なまちづくりを展開していきます。



申請内容について、セーフコミュニティ推進協議会で活発な意見が交わられました

問い合わせ先

市保健センター (☎231181)